

## ＜施策の取組状況及びKPIの進捗状況＞

資料3

### 【基本目標①】

### 3つの港と水産・観光資源を生かしたまちづくり

#### ○産業振興・雇用創出

施策	取組状況	2019年度成果目標（KPI）	基準値	平成27年度実績	KPI進捗評価
国内・外への市場拡大及び新商品開発支援	水産加工大賞の開催やSea級グルメ全国大会への参加、クルーズ客船関係者への地元食材の試食会など市場拡大、新商品の開発支援に取り組んだ。伝統的資源である伯州綿については官民連携で商品企画、開発に取り組み、開発商品を地元百貨店で販売するなど販路拡大に取り組んでいる。また「浜の活力再生プラン」に基づき、漁業所得の向上に向け、缶詰原料の海外輸出等、各種取組を進めている。	●新商品開発支援件数 ：20件（5年累計）	—	3件	C
		●国内外への市場拡大や企業誘致・起業・創業の拡大による雇用創出数 ：150人（5年累計）	—	10人	D
		●ビジネスマッチング商談件数（圏域） ：1,800件（5年累計）	—	531件	B
		●漁業所得：19億円以上	15.2億円（2013年）	15.3億円	D
農業・水産業の担い手育成・確保	国、県と連携した新規就業者支援を行い、新規就農者3人、新規漁業就業者15人と農業・水産業の担い手の育成・確保に順調に取り組んでいる。また、各種体験事業等を通じ、伯州綿栽培サポーターが着実に増加している。	●新規就農者：5人（5年累計）	—	3人	B
		●新規漁業就業者：50人（5年累計）	—	15人	B
		●「伯州綿」学習・体験事業開催数 ：30回（5年累計）	—	4回	C
企業誘致及び起業・創業の拡大	西部9市町村共同で「鳥取県西部創業サポートセンター」を開設、創業時のスタートアップを支援する補助金を創設するなど、起業・創業支援体制の充実に取り組んでいる。立地企業数は2社であったが、ギンザケ養殖の水産会社、夕日ヶ丘地区の商業施設と大型企業の誘致が実現しており、企業・創業の拡大に向け、取組が進められている。	●誘致企業数：15社（5年累計）	—	2社	C
		●起業・創業社数：10社（5年累計）	—	5社	B
		●起業・創業支援件数（相談対応含む） ：100社（5年累計）	—	相談21件、創業14件	B
		●国内外への市場拡大や企業誘致・起業・創業の拡大による雇用創出数 ：150人（5年累計）	—	10人	D

○観光の振興

施策	取組状況	2019年度成果目標（KPI）	基準値	平成27年度実績	KPI進捗評価
観光地の魅力向上による滞在型観光の推進	平成27年の水木しげるロード年間観光入込客数が200万人を割り込んだが、観光客数の回復に向け、水木しげるロードのリニューアル事業、河童の泉の照明演出の新設、「境港ナイトマップ」の作成など魅力向上に向けた取組が進められている。また、海を活用した体験メニュー造成に向けた取組を進めるなど、新たな観光メニューの開発に取り組んでいる他、中海・宍道湖・大山圏域等の広域連携によるDMO設立の検討にも取り組んでいる。	●水木しげるロード年間観光入込客数：年間200万人以上を維持	230万人（2014年）	197.2万人	C
		●水木しげる記念館入館者数：年間20万人以上を維持	20.4万人（2014年）	18.07万人	C
		●水産観光イベント来場者数：5.5万人	4.6万人（2014年）	5.05万人	B
		●山陰いいものマルシェ来場者数：15万人（3年累計）	—	4.5万人	B
外国人観光客の誘客促進	クルーズ客船の寄港が大幅に増加するなど、外国人観光客数は大幅に増加しており、山陰両県や中海・宍道湖・大山圏域市長会などと連携し、PRや寄港時のおもてなしの充実や受入体制の整備等に取り組んでいる。また、平成28年度には地方創生交付金を活用し、小中学校での土曜英語学習、市内事業者向けの外国語会話講座の開催など、外国語会話ができる人材の育成事業に取り組んでいる。	●クルーズ客船寄港年間外国人観光客数：3万人	1.4万人（2014年）	1.94万人	B
		●国際線利用者数（アジアナ航空・チャーター便）：5万人	3.8万人（2014年）	3.99万人	B
		●DBSクルーズフェリー乗客数（境港～東海間）：2万人	1.7万人（2014年）	2.77万人	A
米子鬼太郎空港・DBSクルーズフェリーの利用促進	米子空港利用促進懇話会や山陰国際観光協議会、中海・宍道湖・大山圏域市長会等を通じたPR、旅行会社への支援、運航支援などの各種取組、円安の影響などの追い風により、国内線、国際線、DBSクルーズフェリーともに利用客の増加となっている。特にDBSクルーズフェリーは韓国セウォル号沈没事故の影響による乗客の減少から大幅な増加となり過去最高の乗客数となっている。	●年間空港利用者数（ANA便）：60万人	49.6万人（2014年）	54.9万人	B
		●国際線利用者数（アジアナ航空・チャーター便）：5万人	3.8万人（2014年）	3.99万人	B
		●DBSクルーズフェリー乗客数（境港～東海間）：2万人	1.7万人（2014年）	2.77万人	A

○社会基盤の整備

施策	取組状況	2019年度成果目標（KPI）	基準値	平成27年度実績	KPI進捗評価
みなとを核とした官民連携による賑わいづくり	水族館構想の実現に向け、実現可能性の調査事業を県、境港管理組合と共同で実施した。また、物流環境の改善による産業振興を図るため、官民連携した「境港流通プラットフォーム協議会」が立ち上げられ、平成28年度には国内RORO船のトライアル輸送を実施するなど、取組を進めている。	●水族館設置に向けての基本構想策定：1件	—	実現可能性調査を実施	C
		●国内RORO船定期航路就航：1航路	—	「境港流通プラットフォーム協議会」が設立	B

○移住・定住の促進・情報発信の充実

施策	取組状況	2019年度成果目標（KPI）	基準値	平成27年度実績	KPI進捗評価
移住・定住の促進・情報発信の充実	定期借地権制度のPRに取り組むとともに、地方創生交付金を活用し、鳥取県西部地域振興協議会にて関西での移住定住セミナー、移住体験ツアーの開催、パンフレットの作成など広域でのPRに取り組んだ。平成28年度も引き続き、交付金を活用した広域でのPRに取り組むなど、移住・定住の促進・情報発信のさらなる充実に取り組んでいる。	●移住・定住者数：200人（5年累計）	—	69人	B
		●市外在住者の定期借権契約件数：50件（5年累計）	—	9件	B
		●地域おこし協力隊員数：21人（5年累計）	—	3人	C

【基本目標②】

「子育てするなら境港」を標榜した子育て環境づくり

○少子化対策・子育て支援

施策	取組状況	2019年度成果目標（KPI）	基準値	平成27年度実績	KPI進捗評価
出会いの場の創出	中海・宍道湖・大山圏域での婚活事業を実施した。また、平成27年12月に県が運営する、とっとり出会いサポートセンター「えんとりー」が米子市に開設され、同センターと連携した取組を進めている。	●年間婚姻件数：450件	386件（2014年）	402件	B
		●婚活支援事業参加者数（圏域参加者数）：1,200人（5年累計）	210人（2014年）	251人	B
安心な妊娠出産環境・子育て支援の充実	不妊治療助成や両親学級、赤ちゃん登校日、私立保育園の保育士増員への支援など、既存の各種支援事業の実施に加え、県と連携して第3子以降の保育料無償化、医療費の助成対象の拡充の実施や誠道児童クラブでの受入対象の拡大など、さらなる子育て支援環境の充実が実現している。また、平成28年度より新たに子育て世代包括支援センターを設置するなど、支援のさらなる拡充に取り組んでいる。	●合計特殊出生率：1.80	1.55 （2014年公表値）	1.47 （2015年公表値）	D
		●不妊治療後の母子手帳交付者数：20人	—	9人	D
		●保育園待機児童ゼロの維持	0（H27.4月時点）	0（H28.4月時点）	B
		●児童クラブ受入児童の拡大（小学校4～6年生の受入）：全7校区実施	0校区（2014年）	1校区	B
		●アンケート調査等による公園利用者満足度：70%以上	—	未実施	D

○女性活躍の推進、ワークライフバランスの啓発・支援

施策	取組状況	2019年度成果目標（KPI）	基準値	平成27年度実績	KPI進捗評価
ワークライフバランスの啓発・支援	市報での広報・啓発を実施した。平成28年度には市内事業所を対象にしたワークライフバランスの講演会や市民対象のワークショップの実施など啓発・支援の充実に取り組んでいる。	●「鳥取県男女共同参画推進企業」認定割合：8.0%	3.2%（2014年）	4.26%	C
女性の就労環境充実のための家庭介護負担の軽減	認知症教室や介護予防教室、健診受診勧奨など既存事業の実施に加え、「在宅医療体制充実のための協議会」の発足、「包括ケア講演会」の開催など、地域包括ケア体制の構築に取り組んだ。また、平成28年10月より地域包括支援センターを集約、市直営とし、地域包括ケア体制のさらなる充実に取り組んでいる。	●75歳以上人口に占める要介護認定者の割合抑制：38.0%（見込値）⇒37.0%	38.0%（2019年度見込）	33.74%	B
		●高齢者地域見守り体制の整備：7地区	3地区（2014年）	3地区	D

【基本目標】

県境を越えた広域連携による魅力ある圏域づくり

○中海・宍道湖・大山圏域市長会

施策	取組状況	2019年度成果目標（KPI）	基準値	平成27年度実績	KPI進捗評価
国内外を視野に入れた力強い産業圏域の形成	圏域企業の販路拡大支援やインドとの経済交流に向けた取組などの経済振興の他、三大都市圏や海外への観光PR、「山陰いいものマルシェ」の開催など、力強い産業圏域の形成に向けた各種取組を進めている。	●圏域への観光入込客数：3,870万人	2,865万人（2014年）	2,849万人	D
交通ネットワークの充実	中海・宍道湖を介した「8の字ルート」の早期完成を目指し、山陰道・境港出雲道路、米子・境港間の高規格道路などの要望活動等を圏域一体となって実施している。	●圏域での外国人宿泊数：11.2万人	5.6万人（2014年）	8.5万人	B
住みたくなる圏域づくり	ラムサール条約登録10周年記念事業の開催や中海海藻米の学校給食への利用など、中海・宍道湖の環境保全、活用に向けた取組を進めている。	●山陰いいものマルシェ来場者数：15万人（3年累計）	—	4.5万人	B
住民サービスの向上	圏域の将来を担う人材育成を圏域共同で行うこととし、まつえ未来創造塾や「21世紀型公務員（地域の担い手）」育成研修への各市職員等の参加など人材育成の共同化を進めている。	●ビジネスマッチング商談件数：1,800件（5年累計）	—	531件	B